

2010 年度秋学期 チューター業務を振り返って

所 属	社会学部	社会	学科
担当科目	社会学特講 I		

<秋学期を振り返ってのまとめ 仕事内容・気づいたこと・感想 など>

春学期に続いて秋学期も、ということで仕事にはだいぶ慣れており、春学期に比べればすばやく仕事をこなすことができたと思います。

今回の「社会学特講 I」はコンソーシアムの授業で、他大学から（特に立命館大学から）多くの受講生の方々がいらっしゃっていました。そのためか、話しかけられることが多く、やりがいを感じることができました。皆さんの質問にしっかりと答えられれば良かったのですが、真剣に返さねばならないところを少しないがしろにしまったりすることがあったので、相手のことを考えて行動しなければならないなど改めて感じました。また、これは信用問題にも発展することだと思うので、一つ一つの仕事に責任を持って動くことの重要性を再認識するきっかけとなり、良い経験をまた一つさせてもらったと感じています。

講義の際に、Mac や iPad を用いる先生もいらっしゃり、私自身不慣れであったため、大変迷惑をかけてしまいました。これは一つの反省点です。サポートオフィスへの連絡をいち早くすべきであったと反省しており、これから、もしそういった機会があれば、きちんと対応していけるようにできればと思います。

他大学の学生さんや先生方は、遠くからいらっしゃることもあり、また 5・6 限目の授業ということもあり、大変だったとの声を多く聞きました。本来、5・6 限は資格関係の科目が多いため、この時間帯まで残っていることはめったにないと思われそうですが、皆さん遅い時間帯までしっかりと授業に耳を傾けていらっしゃったので、学生さんの熱意を感じ取ることができました。先生方も来年からこの講義がない、ということで熱心に講義をさしていました。学生、先生方の熱心さに負けないう、これからも講義に取り組んで生きたいと思います。

これから、また先生のお手伝いをする機会があれば、印刷室の機械を使いこなすことが今後の目標としたいと思います。今回、チューターをさせていただき、また一つ成長できたと感じています。仕事の一つ一つの重さを実感するよい契機になるとと思います。

<今後のチューターまたは先生への提案>

先生方との連絡をしっかりと取り合い、講義に必要なもの、準備しておくべきものを把握する必要があったと思います。今回の講義は特別なもので、さまざまな大学からさまざまな先生方に講義にきてもらっていたので、連絡不足の部分もありました。もう少しまめに連絡を取り合っておけば、授業開始の時間を少しでも早くできたと思いますし、先生方に対してもっとよりよい対応をできたのではないかと思います。

出席人数が増えなかった件については、もう少し対策を考えた方が良くと考えます。